

## 失語症者向け意思疎通支援事業について

失語症の方と周囲のコミュニケーションの橋渡しをする「支援者」を養成し、支援を必要としている方へ派遣する都道府県単位で行う事業です。失語症のある方の日常生活における理解や表現を、道具や絵など様々な方法を利用して補助します。

山形県言語聴覚士会では、失語症友の会、失語症の方やご家族が集えるサロン、失語症の関する入門講座等の運営や企画を行っています。また、県内の失語症の方やご家族の意見を反映して活動を広げ、行政への働きかけを行っています。

県内には失語症の方がたくさんいらっしゃいます。一緒に失語症について学んだり、サロンでお話ししてみませんか。



## 失語症に関する出前講座のご案内

ご依頼に応じて出張出前講座、zoomによるオンライン講座をいたします。

お問合せは山形県言語聴覚士会事務局にメールでお願いいたします。

しつごしょう

# 失語症

## ってなんですか？



# 失語症の日

APHASIA DAY

一般社団法人山形県言語聴覚士会 事務局

〒990-0045 山形県山形市桜町 2-68

医療法人篠田好生会

篠田総合病院 リハビリセンター内

e-mail : gengoshikai@yahoo.co.jp

# 「失語症」とは



病気や事故による後遺症の一種です。

脳の言語中枢が損傷すると、「話す」「聞く」「読む」「書く」といった能力が障がいされ、人とコミュニケーションをとることが難しくなります。



脳の損傷部位によって症状は異なり、全く言葉が分からなくなる人、文字ならやりとりできる人、時間をかければ会話できる人など様々です。

一方で知的機能や人格、記憶力といった言語以外の能力は病前と同じに保たれます。聴力は問題ありません。✖

認知症や発達障害と混同されやすく、周囲の理解も得られにくいため、社会生活が大きく制限されてしまいます。

✖脳の損傷範囲によって、これらの障害を併発することがあります。

失語症の方と  
どのようにコミュニケーションを  
とればいいのかのでしょうか？

♪ 「はい」「いいえ」  
で答えられるように聞く

はい

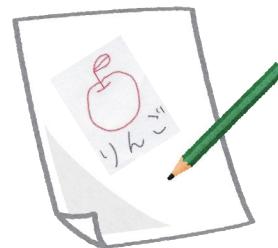
いいえ



♪ 答えがあるまで  
ゆっくり待つ



♪ 文字や絵を活用する  
漢字や絵は特に  
理解しやすい！



♪ 指さしやジェスチャーを  
使いながら  
表情豊かに  
話す

